

令和3年度 歯科関係者アンケート結果

令和3年度の歯科医師会員向けのアンケートは、各歯科医院へポスターとリーフレットを配布する際に、同封し、回答はFAXで返送するよう依頼したものです。

実施期間は、令和3年10月～令和3年12月

配布数は、各歯科医院5枚として総数390枚であるが、歯科医院での正確な対象数の把握がされないため、母数としては用いられない。回収数は、54枚となった。

問1 回答者の職種は何ですか。

歯科医師	歯科衛生士	歯科助手	その他	合計
17	30	4	3	54
31.5%	55.6%	7.4%	5.6%	100.0%

問2 歯周病予防ターゲット年代と思うのは何歳くらいと考えますか。

小中学生	高校性	20歳代	30歳代	40歳代	50代	60代以上	合計
3	7	14	12	14	2	1	53
5.7%	13.2%	26.4%	22.6%	26.4%	3.8%	1.9%	100.0%

*1名は全年齢と回答したため除外し、合計は53となる。

歯周病受療者が多いのは40～50歳代であると思われるが、歯周病の発症は30歳代がピークともいわれており、予防として若い年代をターゲットとする回答が多い。

問3 小樽市の歯科保健対策として今後力を入れるべきなのはどのようなことですか。

1. どの年代に対して行うか。(重複回答)

幼児	小中学生	高校以上の若者	成人	老人	その他
3	21	9	16	10	1

*その他の詳細は「全て」と記載

2. どのようなことを行うか。(重複回答)

健診	健康教育	健康相談	口腔衛生指導	その他
13	6	3	36	0

3. 年代選択肢別に内容を分類（重複回答）

	健診	健康教育	健康相談	口腔衛生指導	その他	合計
幼児	0	2	1	2	0	5
小中学生	0	3	0	18	0	21
高校以上の若者	1	1	0	7	0	9
成人	10	0	2	5	0	17
老人	3	1	2	7	0	13

小樽市として今後力を入れるべき年代として、「小中学生」を選択する者が最も多かった。次に「成人」そして、「老人」が選択された。

実施内容としては、小中学生に対する「口腔衛生指導」、次に成人に対する「健診」、そして老人や高校以上の若者に対する「口腔衛生指導」が選択された。

問4 オーラルフレイル予防対策として現在実施できることと、現在は実施できないが将来的に対応したらよいと思っていることを選択肢から選んでください。

選択肢 A~H

- | | |
|--------------|-----------|
| A 後期高齢者歯科健診 | E 機能訓練 |
| B う蝕や歯周病治療 | F 専門医紹介 |
| C 義歯作製や調整 | G 健康相談・指導 |
| D 機能判定の詳細な検査 | H その他 |

1. 現在実施していることを、A~H から選択（重複選択）

A	B	C	D	E	F	G	H
53	54	54	22	18	34	42	0

2. 将来対応したいことを、A~H から選択（重複選択）

A	B	C	D	E	F	G	H
1	1	1	16	17	12	5	0

オーラルフレイル予防については、現在実施している後期高齢者歯科健診やその後の疾病治療、義歯作製などは、ほとんどの歯科医院で対応しているが、機能判定の検査や機能訓練まで対応している歯科医院はやや少ない。しかしこの2項目は、将来的に対応したいと回答している者が多いことから、今後歯科医院でオーラルフレイル予防の対応が進むと思われる。

